

06.1.10



# 東京国際芸術祭 (TIF) 2006

2月10日(金) - 3月27日(月)

主催: 特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン

共催:  社団法人国際演劇協会 (ITI / UNESCO) 日本センター

事業共催:  国際交流基金 /  財団法人地域創造 /  GOETHE-INSTITUT  
東京 / 財団法人埼玉県芸術文化振興財団

特別協賛:  **Asahi** アサヒビール株式会社

協賛:  SHI/EIDO /  トヨタ自動車株式会社 / **Panasonic**

助成:  **Asahi** アサヒビール芸術文化財団

後援: 外務省 / 東京都 / 社団法人日本芸能実演家団体協議会 / 社団法人日本劇団協議会 / 豊島区

協力: シアターガイド / シアター・テレビジョン

宣伝協力: 株式会社ポスターハリス・カンパニー

 平成17年度文化庁国際芸術交流支援事業

## お問合せ

東京国際芸術祭 (TIF)

〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨 4-9-1 旧朝日中学校

TEL.03-5961-5202/ FAX.03-5961-5207/ [tif@anj.or.jp](mailto:tif@anj.or.jp)

東京国際芸術祭 2006 プログラムラインナップ

公演名	会場 / 公演期間
<b>TIF 国際共同製作事業</b> <b>アメリカ現代戯曲 &amp; 劇作家シリーズ Vol.1 ドラマリーディング【日本+アメリカ】</b> 『メイヘム MAYHEM』 作:ケリー・スチュアート/翻訳:川島健/宮崎真子(俳優座) 『アクト・ア・レディ ACT A LADY』 作:ジョーダン・ハリソン/翻訳:須藤鈴/江本純子(毛皮族) 『ベラージオ BELLAGIO』 作:マック・ウェルマン/翻訳:川島健/演出:中島諒人 『セックスハビッツ・オブ・アメリカンウィメン THE SEX HABITS OF AMERICAN WOMEN』 作:ジュリー・マリー・マイアット/翻訳吉田恭子/演出:中野成樹(POOL-5+ フランケンズ) ドラマトゥルク:長島確	にしすがも創造舎特設劇場 2月10日(金) - 12日(日)
<b>ヤスミン・ゴデール and The Bloody Bench Players【イスラエル】</b> 『ストロベリークリームと火薬』 振付:ヤスミン・ゴデール	にしすがも創造舎特設劇場 3月1日(水) - 4日(土)
<b>TIF 国際共同製作事業</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">英語上演・日本語字幕付</span> <b>スレイマン・アルパッサーム・シアター【クウェート】</b> 世界初演! 『カリラ・ワ・ディムナ -王子たちの鏡』 作・演出:スレイマン・アルパッサーム	にしすがも創造舎特設劇場 3月10日(金) - 16日(木)
<b>ドイツ座【ドイツ】</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ドイツ語上演・日本語字幕付</span> 『エミーリア・ガロッティ』 原作:G.E.レッシング/演出:ミヒャエル・タールハイマー	彩の国さいたま芸術劇場 3月19日(日) - 21日(火・祝)
<b>スリーポイント・プロデュース【日本】</b> ベケット・ライブ vol.7『見ちがい言いちがい』 原作:サミュエル・ベケット/コンセプト・翻訳:宇野邦一/演出:三浦基 出演:鈴木理江子	下北沢「劇」小劇場 3月22日(水) - 26日(日)
<b>にしすがも創造舎演劇上演プロジェクト vol.3【日本】</b> 『冬の花火、春の枯葉』 原作:太宰治 構成・演出:倉迫康史	にしすがも創造舎特設劇場 3月24日(金) - 27日(月)
<b>リージョナルシアター・シリーズ</b> 劇団 Ugly duckling [大阪] 『改訂版さっちゃん』 作:樋口美友喜/演出:池田祐佳理 現代時報 [盛岡] 『親密な他人』 作・演出:高村明彦 劇団SKグループ [札幌] 『再演A。』 作・演出:すがの公 北九州芸術劇場 × 飛ぶ劇場 [北九州] 『IRON』 作・演出:泊篤志	東京芸術劇場小ホール1 2月17日(金) - 19日(日) 2月21日(火) - 22日(水) 2月25日(土) - 26日(日) 3月3日(金) - 5日(日)
<b>【インターナショナル・ヴィジターズ・プログラム】</b> 国際演劇評論家協会シンポジウム	にしすがも創造舎特設劇場 3月19日(日)

東京国際芸術祭 2006 提携公演

<b>にしすがも創造舎演劇上演プロジェクト vol.2【日本】</b> 『4.48 サイコシス』 作:サラ・ケイン/演出:阿部初美/ドラマトゥルク:長島確  平成 17 年度文化庁芸術創造活動重点支援事業	にしすがも創造舎特設劇場 3月18日(土) - 21日(火・祝)
--	-------------------------------------

## 開催概要

名称	東京国際芸術祭2006 Tokyo International Arts Festival
会期・会場	2006年2月10日(金)～3月27日(月) 46日間 彩の国さいたま芸術劇場大ホール 下北沢「劇」小劇場 東京芸術劇場小ホール1 にしすがも創造舎 特設劇場 (五十音順)
プログラム	1.公演部門 14演目 51公演 2.コミュニケーション・プログラム 3.インターナショナル・ヴィジターズ・プログラム(IVP)
主催	特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン (NPO-ANJ)
共催	社団法人国際演劇協会(ITI/UNESCO)日本センター
事業共催	国際交流基金(ジャパンファウンデーション)[クウェート、イスラエル招聘公演、IVP] 財団法人地域創造[リージョナルシアター・シリーズ、ドイツ招聘公演] 東京ドイツ文化センター[ドイツ招聘公演] 財団法人埼玉県芸術文化振興財団[ドイツ招聘公演]
特別協賛 協賛	アサヒビール株式会社 株式会社資生堂 トヨタ自動車株式会社 松下電器産業株式会社
助成 後援	財団法人アサヒビール芸術文化財団 外務省 東京都 社団法人日本芸能実演家団体協議会 社団法人日本劇団協議会 豊島区
協力	シアターガイド シアター・テレビジョン
宣伝協力	株式会社ポスターハリス・カンパニー
お問合せ	特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン(ANJ) 東京国際芸術祭(TIF) 〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨4-9-1 旧朝日中学校 TEL.03-5961-5200(ANJ)/5202(TIF) FAX.03-5961-5207

 平成 17 年度文化庁国際芸術交流支援事業

## 東京国際芸術祭 2006 開催にあたって

NPO 法人アートネットワーク・ジャパンは、2月、3月に、東京国際芸術祭 2006 を開催する。今回の芸術祭も、前回と同様に演劇の社会性、思想性、政治性を問うことに変化はないが、とはいえ、かなり大胆な変身をとげるための実験的な試みがなされている。

我々の身体に知らずにしみ込んでくる素朴な意識・慣習、あるいは作為に充ちた社会的通念を打ち破る力は<今>アートにはないにしても、その奥にある権威・権力の不様な姿を暴き出すことくらいはできていいはずだ。

アート界ではアメリカは孤立している。9.11 同時テロからイラク戦争まで、多くのアメリカのアーティストの意に反し、合衆国政府は強行路線を突進み、それに伴って、アーティストは孤立を深めていった。ブッシュの政府が世界の嫌われ者であったとしても、アメリカのアーティストがそうである必要はない。どのような方策を国家がとろうが、アーティスト間の交流を絶やしてはいけない、というのが我々の主張である。アメリカのプレイライツ・センター、ガスリー・シアターと日米友好基金の協力のもと、非営利組織アーツ・ミッドウエストとの共同で、2000年以降の劇作4本を訳し、日本の演出家、俳優によってリーディング形式で公演する。アメリカの劇作家は何を考えているのだろうか。これは3年継続の事業である。

今回もまた旧東ドイツの演劇と中東の作品を招聘している。ドイツ座のタールハイマー演出の『エミーリア・ガロッチィ』は非常に評判の高い演劇だが、前回のフォルクスビューネのカストルフとは違って官能的で洗練された作品である。

中東シリーズは国際交流基金との3年間プロジェクトの3年目だが、反響の強さ故に、5年に延長したい。クウェートのスレイマン・アルバッサームは2004年度『アル・ハムレット・サミット』につづき、東京国際芸術祭と共同製作で世界初演の新作を発表する。またイスラエルの今世界で話題の振付家ヤスミン・ゴデールの作品『ストロベリークリームと火薬』という政治意識の高いダンスを紹介する。

リージョナルシアター・シリーズは、今回終了後大きく形を変えることが決まっている。

今回の新しい試みは、日本の演劇の創作を開始したことである。2004年秋より豊島区の協力で、西巣鴨に稽古場、特設ステージ等(にしすがも創造舎)を開設し、作品を生み出すためのインフラを整備してきた。そこで演出家の倉迫康史氏や阿部初美氏などをレジデント・アーティストとして、にしすがも創造舎を拠点に作品創作に取り組める体制づくりに着手し、東京国際芸術祭でその成果を問うことにした。さらにドイツ演劇を紹介する中で、「ドラマトゥルク」という職能が演劇づくりに大きな役割をはたしていることを理解し、「ドラマトゥルク」を知る講座を開催するなど、理解を深め、今回はそれを実践に移すことにした。そこで、日本でドラマトゥルクとしての役割を担える希少な人材である長島確氏と演出家阿部初美氏の共同でサラ・ケイン作『4.48 サイコシス』をTIF提携公演として上演する。この方法が、日本の演劇界によい刺激となることを期待すると同時に、ドラマトゥルクをいかに育成するか、大きな問題にアプローチしていく考えである。

東京国際芸術祭ディレクター 市村作知雄

## 東京国際芸術祭 (TIF) 2006 ラインナップのご紹介

アメリカ、イスラエル、クウェート、ドイツそして日本。今回の TIF も演劇の社会性、思想性、政治性を問う意欲作を揃えました。その地で生きる人々の“今”を体験できる 2 ヶ月です。

### TIF 国際共同製作事業&招聘公演のご紹介

まず開幕を飾るのは**アメリカ現代戯曲のドラマリーディング**。20 代～50 代の各劇作家による、2000 年以降に執筆された新作戯曲 4 作品を、日本の気鋭演出家、ドラマトゥルク、翻訳家、俳優が読み解きます。アメリカの劇作家は何を考えているのか、その深層に迫ります。続いては今回 3 年目を迎える国際交流基金との共催で行われる中東シリーズ。待望のイスラエルからはヤスミン・ゴデール[振付]が、イスラエル・ダンスシーンでは語られることがなかった極めて政治的な問題に取り組んだ**「ストロベリークリームと火薬」**を携えてアジア初演。イスラエルの現実を生きる若者たちの声なき声が、舞台に静かに充満します。クウェートからはスレイマン・アルバッサム・シアターが、アラブ世界で最も知られている寓話を大胆に翻訳した**「カリラ・ワ・ディムナ - 王子たちの鏡」**で 2 度目の来日。舞台はアッバース朝創世記のバグダッド。シェイクスピアをも彷彿とさせる歴史劇の中に、帝国と権力を巡る諸問題を浮かび上がらせます。招聘公演のラストは、ドイツより前回のフォルクスビューネに引き続き、ドイツ座がドイツ演劇の次世代を担う演出家として注目を集めるミヒャエル・タールハイマーによる**「エミーリア・ガロッチィ」**で初来日。18 世紀の古典が、儂い官能の舞台となって現代に蘇ります。

### 国内公演のご紹介

7 年目を迎える**リージョナルシアター・シリーズ**。今回は大阪・盛岡・札幌・北九州で活躍する劇団を紹介します。地域に根ざした彼らの視点からみた日本が描かれた秀作が、ラインナップされました。芸術祭後半は、ベケット後期の作品を中心に上演を続けるスリーポイントによる**ベケット・ライブ vol.7「見ちがい言いちがい」**。一人芝居として構成、舞台化された本作品で 3 度目の参加を飾ります。また NPO 法人アートネットワークが拠点をおく[にしすがも創造舎]<sup>1</sup>からは、昨年始動した**にしすがも創造舎演劇上演プロジェクト** 2 作品を上演します。**「冬の花火、春の枯葉」**は、太宰治の戯曲 2 作品と彼の人生を重ね合わせた作品で、日本近代文学の演劇化に挑み続ける倉迫康史の構成・演出によるニヒルでユーモラスな太宰治流の敗北論が展開します。もう一作品は、TIF06 提携公演として、阿部初美・演出、長島確・ドラマトゥルクによる、サラ・ケインの代表作**「4.48 サイコシス」**。現在の日本が抱える“痛み”を表出させる新たな**「4.48 サイコシス」**が誕生します。日本の演劇への制作を新たに開始した東京国際芸術祭。今後の活動にもご期待ください。

#### <sup>1</sup>にしすがも創造舎演劇上演プロジェクト

廃校校舎を転用して運営されているアートセンター「にしすがも創造舎」。ここで生み出された作品の上演を行う「にしすがも創造舎演劇上演プロジェクト」が 05 年 2 月に始動しました。より開かれた形をめざし、「創造(稽古場)から発信(場)」へ。今後もアートネットワーク・ジャパンが主催する東京国際芸術祭 (TIF) の公演などを行っていきます。

TIF + 日米カルチュラル・トレード・ネットワーク(CTN)/アーツ・ミッドウエスト国際共同製作  
**アメリカ現代戯曲&劇作家シリーズ Vol.1 ドラマリーディング [日本 + アメリカ]**

プログラムディレクション:市村作知雄(TIF)、吉田恭子(アーツミッドウエスト)、ポーリー・カール(プレイライツ・センター)、マイケル・ディクソン(ガスリー・シアター) ドラマトゥルク:長島確

**アメリカの劇作家たちは今、何を感じ、何を考え、何を表現しようとしているのか？**

**全米から集まった 1000 本近くの新作戯曲から選ばれた 4 本を、日本の気鋭演出家が読み解く、  
ドラマリーディング。**

**『メイヘム MAYHEM』(2000)**

**作:ケリー・スチュアート 翻訳:川島健 演出:宮崎真子(俳優座)**

9.11 より1年前の夏、あるアメリカ人家庭での出来事。政治にも社会問題にも無縁の主婦が、活動家の友人や、戦場ジャーナリストとの出会いによって、今、世界で起こっている出来事に関心を持ち始める。テレビで流れる戦場からのニュースと、家庭で夫や子どもを抱える閉塞感とのギャップ。その距離を測りかねながら、平和運動への猜疑、メディアで報道される暴力のリアリティの真偽を問う主婦と、それを取り巻く人々の姿が率直に描かれます。

ケリー・スチュアート Kelly Stuart

スマートで鋭い観点から政治的な問題へ切り込んでいく作風で定評があり、1996 年『Demonology』で Best New American Play Award(Sun and Moon Press)を受賞。近年では、イギリスのロイヤルコート劇場や、ドイツのシャウビューネ劇場などでもリーディング公演が行われている。ニューヨーク在住、コロンビア大学で劇作を指導している。

宮崎真子 Masako Miyazaki

演出家。俳優座所属。1991-93 年文化庁芸術家在外研修員として渡英。R・ルパージュ、A・エイクボーンに師事。古典から現代劇、オペラまで幅広く、造形美に満ちた斬新な演出を展開。演出作品に『ヒトノカケラ』(新国立劇場)、『アンティゴネ』(シアターラム)他多数。最新作は俳優座劇場プロデュース『サマーハウスの夢』。

**『アクト・ア・レディ ~アメリカ中西部ドラッグショー~**

**ACT A LADY, a mid western drag show in three acts』(2005)**

**作:ジョーダン・ハリソン 翻訳:須藤鈴 演出:江本純子(毛皮族)**

1927年、アメリカ中西部の小さな町で、3 人の男が派手な女装でメロドラマを演じる。やがて、芝居と現実世界が混同し始め、登場人物の性別の境界線が曖昧になり、それぞれの素顔やアイデンティティーが明らかになる。GLBT(ゲイ/レズビアン/バイセクシャル/トランスセクシャル)問題の起源を辿り、男性の中に存在する“女”、女性の中に存在する“男”について問いかける意欲作です。

ジョーダン・ハリソン Jordan Harrison

1977 年生まれ。99 年スタンフォード大学(英語学)を卒業後、ブラウン大学にて劇作を学ぶ。2002 年より、数々のアワードや奨学金を獲得し 04 年にはオフ・ブロードウェイ進出。その新作戯曲は全米の劇場でリーディングやワークショップが行われている。ミネアポリス在住。

江本純子 Junko Emoto

1978 年生まれ。立教大学在学中の 2000 年 9 月に劇団「毛皮族」を旗揚げ、以後全公演において作・演出・出演。主な出演作に映画『恋の門』『下妻物語』『姑獲女の夏』。05 年には CD『すりガラスの 20 代』、DVD『毛皮族 DVD』『銭は君』をリリース。

### **「ベラージオ;もしくはメタル製の全てのもの;もしくはおじいちゃんがパパを射殺させるとき**

**BELLAGIO; or Of all Things Made of Metal; or When Grandpapa Had Daddy Shot」(2005)**

**作:マック・ウェルマン 翻訳:川島健 演出:中島諒人**

1910 年代、近代文明の産業や機械を礼賛し、ファシズムと深く繋がっていたイタリアの「未来派」。主唱者である詩人マリネッティの輝かしいエピソードが羅列される第一幕に続き、第二幕では第二次大戦終了間近の退廃的な雰囲気の中でマリネッティとムッソリーニの食い違う会話が展開。複雑な時間構造の中で史実とフィクションが絡み合い、当時の未来派の興隆と衰退の様子が、現代資本主義社会の行く末に照射されていきます。

マック・ウェルマン Mac Wellman

アメリカ現代演劇を牽引する劇作家。1970 年代からニューヨークを中心に活動し、これまでに、3 度のオビー賞(オフ・ブロードウェイの上演作品を対象にした賞)を受賞、2003 年には最も榮譽ある、"Lifetime Achievement"を授与される。その作品の数々には、挑発的で痛烈な風刺が込められている。現在、ブルックリン大学にて教鞭をとる。

中島諒人 Makoto Nakashima

1994 年、シアターカンパニー・ジンジャントロプスボイセイを設立。利賀演出家コンクール 2003 で最優秀演出家賞を受賞。代表作は『かもめ』『ユピュ王』『ヘッダ・ガブラー』など。06 年より鳥取に活動拠点を移し「鳥の劇場」としてリスタートする。

### **「セックスハビッツ・オブ・アメリカンウイメン**

**THE SEX HABITS OF AMERICAN WOMEN」(2004)**

**作:ジュリー・マリー・マイアット 翻訳:吉田恭子 演出:中野成樹((POOL-5) + フランケンズ)**

1950 年代前半、性に関して閉鎖的な時代の価値観の中でそれぞれに悩む夫婦と娘のストーリーと、2004 年のシングルマザーの母と娘へのインタビューが交錯する。愛、ロマンス、セックス、自己犠牲、欲求の抑圧など、心と身体、個人と家族の奥深い課題、そして女性の性と精神の神秘性が時代を超えて浮かび上がります。

ジュリー・マリー・マイアット Julie Marie Myatt

ニューヨーク、ロサンゼルス、ミネアポリスの劇場を拠点に活動。『セックスハビッツ〜』は、プレイライツ・センターにてリーディング上演、ガスリー・シアターで本公演化された。最新作“Boats on a River”では、同劇場の International Travel New Play Commissions(劇作家を世界へ派遣し、その経験を作品に活かすプロジェクト)でカンボジアに滞在、リサーチをもとに作品を書き上げた。

中野成樹 Shigeki Nakano

1973年東京生まれ。POOL-5所属。98年、自身がリーダーとなる演劇ユニット、フランケンシュタイナーをまったく別口に立ち上げる。2003年、中野成樹(POOL-5)+フランケンズに改名。“フランケン”では一途に翻訳劇をとりあげ、誤意識なる独自のスタイルで注目をあつめる。

**【公演日時】2月10日(金) - 12日(日)**

2月10日(金) 14:30(TIF オープニングスピーチ) / 15:00A / 19:00B

2月11日(土) 12:00 D / 14:30 C / 17:00 B / 19:30 A

2月12日(日) 12:30 C / 15:00(シンポジウム) / 19:00 D

A:『メイヘム』 B:『アクト・ア・レディ』 C:『ペラージオ』 D:『セックスハビッツ・オブ・アメリカンウイメン』

終演後、ポスト・パフォーマンス・トークあり

【会場】にしすがも創造舎特設劇場

【料金】(全席自由・日時指定・税込)

一般 1000 円 / 学生 800 円(当日要学生証提示)

4 演目セット券 一般 2000 円 / 学生 1500 円(セット券はTIFのみ発売)

【前売開始】1月11日(水)

【チケット取扱】チケットぴあ(Pコード 366-203) / e+(イープラス) / 東京国際芸術祭(TIF)

< TIF オープニングスピーチ >

今年で12回目を迎える東京国際芸術祭の開幕にあたり、ディレクターが各演目の紹介とプログラミングの方向性についてお話しします。(10日(金)15:00の回のチケットをお持ちの方のみご参加いただけます)

< シンポジウム >

「アメリカの劇作家は今」

来日する4人の劇作家を交え、アメリカにおける劇作家の現状と課題をディスカッションします。

(チケットをお持ちの方は入場無料、シンポジウムのみ参加の場合は500円(予約不要))

助成:日米友好基金 / 財団法人アサヒビール芸術文化財団

後援:アメリカ大使館

協力:プレイライツ・センター / ガスリー・シアター

**ヤスミン・ゴデール振付 and The Bloody Bench Players [イスラエル]**

**「ストロベリークリームと火薬」**

振付:ヤスミン・ゴデール    ドラマトルク:イツイク・ジュリ    作曲・ライブ演奏:アヴィ・バレリ  
空間デザイン:ガル・ベインシュテイン    照明:ジャッキー・シェメシュ    衣裳:アロン・ロデ  
音響:コーヘン・オレン    振付助手:インバル・ヤコヴィ  
ダンサー:ヤスミン・ゴデール/イリス・エレッズ/インバル・ネミロフスキー/エラン・シャニ/  
ジェレミー・ベルンハイム /マーヤ・バインヴェルグ/アルカディ・ザイデス

**イスラエルの現実を生きる若者たちの声なき声が、舞台に静かに充滿する**

2004 年エルサレム初演。それまでイスラエル・ダンスシーンで語られることのなかった極めて政治的・社会的な問題に正面から取り組み、世界のダンス界に大きな衝撃と賞賛をもって迎えられた問題作。舞台では、火薬の煙がうっすらと立ち込める中、検問所を思わせる交通遮断機がゆっくりと上下し、その張り詰めた空間をノイズとギター・サウンドが低く切り裂いていく…。どこにでもいそうな普通の若者たちが繰り広げる、演劇ともダンスともつかぬ身体のローリングプレーの反復の中で、メディアが作り出した暴力と悲劇のイメージが連鎖し、増幅し、やがて強烈な問いかけとなって観る者を圧倒する。この凄まじい舞台を前に、我々は決して傍観者であることはできない。ヤスミン・ゴデールはエルサレム生まれ、現在世界中から熱い注目を集めている新進気鋭の振付家。

【公演日時】 3月1日(水) - 4日(土)

3月1日(水) 19:00

3月2日(木) 19:00

3月3日(金) 19:00    ゲスト:高嶺格(美術家)

3月4日(土) 17:00

終演後、ポスト・パフォーマンス・トークあり

【会場】にしすがも創造舎特設劇場

【料金】(全席自由・日時指定・税込)

一般 4000 円 / 学生 2000 円(当日要学生証提示)

【前売開始】 1月11日(水)

【チケット取扱】 チケットぴあ(Pコード 366-204)/e+(イープラス)/東京国際芸術祭(TIF)

共催:国際交流基金(ジャパンファウンデーション)

後援:イスラエル大使館

TIF + パービカン・センター (UK) + イスラーム美術館 (クウェート) 国際共同製作 世界初演！  
スレイマン・アルバッサーム・シアター [クウェート] 『カリラ・ワ・ディムナ - 王子たちの鏡』  
〈英語上演・日本語字幕付〉

作・演出: スレイマン・アルバッサーム 美術・衣裳・映像デザイン: ジュリア・パーズレー  
照明デザイン: シャイン・ヤプロエーン 作曲・演奏: ルイス・ジブソン 演奏: アルフレッド・ジェノベジ  
制作・技術監督: ドモニク・マーティン 舞台監督・カンパニーマネージャー: ヴィッキー・ベリー  
出演: ミシェル・ボナール/ナイジェル・パレット/ベン・ボアマン/アレックス・カーン/  
キャミー・ダーヴィッシュ/シモン・カーン/ニコラス・カーン/マチュー・パリッシュ/ファズ・シガース

中世イスラームの寓話「カリラ・ワ・ディムナ」が、現在の中東・アラブ世界の鏡面として蘇える『アル・ハムレット・サミット』で日本の演劇界に衝撃を与えたアラブ演劇の若き旗手スレイマン・アルバッサームが、日本・イギリス、クウェートの国際共同制作による新作を携えて再来日。舞台はアッバース朝創世記のバグダード。現在もアラブ世界で最も広く親しまれている寓話集「カリラ・ワ・ディムナ」をアラビア語に翻訳した作家ムカッファイの悲劇を通じて、現在アラブ世界に生きる芸術家や哲学者が直面する問題が鋭く投影されていく。S・アルバッサームならではの知的でスタイリッシュな演出、洗練された舞台空間や美しいライブ演奏の中に、詩的で暗示的なテキストが乱反射する…そこにはいにしへのバグダードから、戦禍の混乱が続く現在のバグダードとアラブ世界が鏡面のように映し出され、シェイクスピアをも彷彿とさせる歴史劇の中に、帝国と権力を巡る諸問題が浮かびあがることだろう。

【公演日時】3月10日(金) - 16日(木)

3月10日(金) 19:00

3月11日(土) 17:00

3月12日(日) 17:00 ゲスト: 宮沢章夫 (劇作家・演出家)

3月13日(月) 休演日

3月14日(火) 19:00

3月15日(水) 19:00

3月16日(木) 19:00 終演後、ポスト・パフォーマンス・トークあり

【会場】にしすがも創造舎特設劇場

【料金】(全席指定・税込)

一般 4000 円 学生 2000 円 (当日要学生証提示)

【前売開始】1月11日(水)

【チケット取扱】チケットぴあ(Pコード 366-205)/e+(イープラス)/東京国際芸術祭(TIF)

共催: 国際交流基金(ジャパンファウンデーション)

後援: クウェート大使館

ibite

دار الفنون

**ドイツ座『エミーリア・ガロッティ』【ドイツ】 <ドイツ語上演・日本語字幕付>**

原作：G.E.レッシング 演出：ミハエル・タールハイマー

美術・衣裳：オーラフ・アルトマン 音楽：ベルト・ヴレーデ（『花様年華』挿入曲「夢二のテーマ」  
作曲：梅林茂より） ドラマトゥルク：ハンス・ナドルニー

出演：レギーネ・ツインマーマン/ペーター・パーゲル/カトリン・クライン/スヴェン・レーマン/インゴ・  
ヒュルスマン/ヘニング・フォークト/ニーナ・ホス

**ファッションショーのような、美しさ。花火のような、儂いエロティシズム。**

ウォン・カーワイ監督の映画『花様年華』の主題曲にのせ、見つめあう男と女。言葉なき言葉が、  
繊細な身体の動きによって官能的に語られる。一方、烈火の勢いで台詞が吐き出されたかと思  
うと、突然飛び跳ねる、浮遊するように歩き出すなど、身体 / 言葉 / 感情の狭間にある深淵に切  
り込むようなコンセプトな演出が施され、その機微が圧倒的な演技力を持つ俳優たちによ  
って演じられます。本作品は、18 世紀ドイツ啓蒙主義の代表的存在である G.E.レッシングが「市  
民悲劇」として、鋭い社会批判を込めて書いた戯曲。そこには、権力や地位への忠誠と貞潔、そ  
して束縛された人間の行き所のない愛が描きこまれています。この古典のエッセンスのみを抽出  
し、新しい息吹を与えて現代に甦らせたのが、現代ドイツ演劇における新世代の演出家ミハエ  
ル・タールハイマー。ニューヨーク、モスクワでも上演され絶賛された『エミーリア・ガロッティ』の待  
望の日本初来日公演。

【公演日時】3月19日(日) - 21日(火・祝)

3月19日(日) 15:00

3月20日(月) 19:30

3月21日(火・祝) 15:00

終演後、ポスト・パフォーマンス・トークあり

【会場】彩の国さいたま芸術劇場大ホール

【料金】(全席指定・税込)

S席 5000円 / A席 3000円 / 学生席 1000円 (芸術劇場のみ取扱)

【前売開始】2005年12月11日(日)

【チケット取扱】

彩の国さいたま芸術劇場 財団チケットセンター

チケットぴあ(Pコード 366-097)/e+(イープラス)/東京国際芸術祭(TIF)

【お問合せ】

東京国際芸術祭(TIF): TEL.03-5961-5202 tif@anj.or.jp

彩の国さいたま芸術劇場 TEL.048-858-5511 <http://www.saf.or.jp>



助成：財団法人地域創造

**スリーポイント・プロデュース**  
**ベケット・ライブ vol.7『見ちがい言いちがい』**

原作: サミュエル・ベケット    コンセプト・翻訳: 宇野邦一    演出: 三浦基  
舞台監督: 浜村修司    照明: 高原文江 + 真昼    映像: 山田晋平    演出助手: 村川拓也  
制作協力: 田嶋結菜(地点)    制作: 山下陽子    企画・製作: スリーポイント  
出演: 鈴木理江子

**不幸なことに、まるで彼女はまだ生きているみたい**

パリのルコック演劇学校に学び、転形劇場で活躍した女優・鈴木理江子が、1999年より続ける企画「ベケット・ライブ」。日本では上演される機会の少ないサミュエル・ベケットの後期作品を中心に、手強くも魅惑的なベケットの〈ことば〉と真正面から向き合い、格闘する。

シリーズ7作目となる今回は、ベケット75歳の作品『見ちがい言いちがい』を一人芝居として構成、舞台化。

時空を自在に漂うひとつの眼が覗き見た、ひとりの老婆の生の断片。カメラ・アイのようなその眼は、室内にまた野原に出没する老婆を追跡し、見つめる。〈見ること〉そしてそれを〈言うこと〉への深い問いかけが、通底音のように響く。

【公演日時】3月22日(水) - 26日(日)

3月22日(水) 19:30                      3月23日(木) 19:30  
3月24日(金) 19:30                      3月25日(土) 15:00  
3月26日(日) 15:00                      \* 開場は開演の30分前

【会場】下北沢「劇」小劇場    03-3466-0020    東京都世田谷区北沢 2-6-6

【料金】(全席自由・税込)

一般前売 3200円 / 一般当日 3500円  
学生前売 2200円 / 学生当日 2500円

【チケット発売】2月20日(月)

【チケット取扱】

スリーポイント TEL.080-5696-0033

E-mail:info3points@apost.plala.or.jp

<http://www6.plala.or.jp/beckettlive/>

チケットぴあ(Pコード 366-554)

【お問合せ】

スリーポイント TEL. 080-5696-0033

E-mail:info3points@apost.plala.or.jp

<http://www6.plala.or.jp/beckettlive/>

にしすがも創造舎演劇上演プロジェクト vol.3[日本]

**『冬の花火、春の枯葉』**

原作:太宰治 構成・演出:倉迫康史(Ort-d.d) 美術:伊藤雅子

照明:木藤歩(balance,inc) サウンドデザイン:棚川寛子

衣装・ヘアメイク:ROCCA WORKS 舞台監督:弘光哲也

出演:市川梢/岡田宗介/寺内亜矢子(ク・ナウカ)/三橋麻子(Ort-d.d)/村上哲也

山田宏平(山の手事情社)

**今こそ太宰、本物の負け犬たちの物語**

太宰初の本格戯曲『冬の花火』冒頭の台詞 - 「負けた、負けたと言うけれども、あたしは、そうじゃないと思うわ。ほろんだのよ。滅亡しちゃったのよ。日本の国の隅から隅まで占領されて、あたしたちは、ひとり残らず捕虜なのに」 - 太宰は、戦後新しいユートピアの建設が始まると希望をもって来た。だがすぐに希望は絶望へと変わった。絶望の理由は 敗北 を自覚しない国民。敗北の自覚なき 再生 はありえない。晩年、すなわち三十代後半の太宰は己の身と心を削って敗北を見つめ続けた。日本近代文学の演劇化に挑み続ける演出家によるニヒルでユーモラスな太宰治流敗北論。

【公演日時】3月24日(金) - 27日(月)

3月24日(金) 19:30

3月25日(土) 15:00/19:30

3月26日(日) 17:00

3月27日(月) 15:00/19:30

終演後、ポスト・パフォーマンス・トークあり

【会場】にしすがも創造舎特設劇場

【料金】(全席自由・日時指定・税込)

一般 3000 円 / 学生 2000 円(当日要学生証提示)

豊島区民割引 2500 円(TIF のみ発売)

【前売開始】1月11日(水)

【チケット取扱】チケットぴあ(Pコード 366-207)/e+(イープラス)/東京国際芸術祭(TIF)

後援:豊島区 豊島区文化創造都市宣言記念事業

## リージョナルシアター・シリーズ

主催：NPO 法人アートネットワーク・ジャパン 財団法人地域創造

【会場】東京芸術劇場小ホール1

【前売開始】1月11日(水)

【お問合せ】東京国際芸術祭(TIF)

### 劇団 Ugly duckling[大阪] 『改訂版さっちゃん』 作：樋口美友喜 演出：池田祐佳理

作：樋口美友喜 演出：池田祐佳理 舞台監督：岡一代 [TANCI池田意匠事務所]

照明：皿袋誠路 [(株)パシフィックアートセンター] 音響：金子進一 [T&Crew]

舞台美術：池田ともゆき [TANCI池田意匠事務所] 制作協力：岡本康子 (TRASH<sup>2</sup>)

制作：植田宏美 福井愛

出演：出口弥生/中村隆一郎/吉川貴子/ののあざみ/村上桜子/中野聡/山田一幸 [朱亜 shu-A]  
後藤七重 [WIRE] / 樋口美友喜 / 池田祐佳理

### 閉じ込められた時間の中で長くて短い夢を見た

テントがある。それはきっと昔は演劇をするためのテントであったが、今となっては公園の砂場の横に、まるで浮浪者が住むような、匂ってくるようなテントと成り果てている。そこで一人暮らす女・朝子のもとに、役所で働く八神がテントを撤去するために、彼女を説得しに訪れる。しかし、どうやら朝子のほうが一枚上手のようである。八神が訪ねてくる度に、朝子は芝居のような、実体験のような不思議な話をするのだが・・・

1995 年旗揚げ。劇団本公演の全作品は、作・樋口 / 演出・池田コンビによるオリジナル作品を上演。現代社会を斬新な価値観でとらえ、奇想天外かつダイナミック、ときにはファンタジックに描いた劇世界を表現し続けている。

【公演日時】2月17日(金) - 19日(日)

2月17日(金) 19:00

2月18日(土) 14:00/19:00

2月19日(日) 14:00

【料金】(全席自由・日時指定・税込)

前売 2500 円 / 当日 2800 円 / 高校生以下フリーパス 1500 円 (前売・当日共・要学生証)

ペアチケット(前売・予約のみ)4600 円 (フリーパス・ペアチケットは、問合せ先のみ取扱)

【前売開始】1月11日(水)

【チケット取扱】チケットぴあ(Pコード 366-208) / e+(イープラス) / 東京国際芸術祭(TIF) /

劇団 Ugly duckling

【お問合せ】劇団 Ugly duckling TEL & FAX.06 6933 3455

ugly\_art5@hotmail.com <http://www1.vecceed.ne.jp/~ugly-d/>

## 現代時報[盛岡] 『親密な他人』 作・演出:高村明彦

作・演出:高村明彦 舞台監督・美術:土川拓未 装置:小川嘉文/高橋直幸  
照明:田村史法/工藤雅弘(fantasisista?ish.) 音響:洞口美代 制作小田島尚行  
出演:三好永記/蛇口仁志/中村剛造/田中美圭/前川寛子/佐々木つかさ

### 人を笑わせたい、生きてることを実感したい。芸人を目指す3人の青春群像！

晩秋、東北のとある地方都市の大学構内にあるプレハブ小屋。野村と河東は学園祭で披露するお笑いネタの稽古に励んでいた。二人は自問する。果してこのネタは面白いのか…ジレンマを抱えつつも、時は刻々と過ぎていく。その最中、先輩の太田が顔を出し、不思議な女の子を紹介する。理想と現実、努力と才能、都会と地方、相方と恋人、様々なテーマが織り成す現代時報の青春群像。

1997年、現代表高村明彦が大学在学中に結成。盛岡を拠点に活動する劇団。高村作・演出の本公演をメインに、プロデュース公演、短編劇“60minutes”や、盛岡劇場「八時の芝居小屋」などにて精力的に公演を行っている。

【公演日時】2月21日(火) - 22日(水)

2月21日(火) 19:00

2月22日(水) 14:00/19:00

終演後ポスト・パフォーマンス・トークあり

【料金】(全席自由・日時指定・税込)

前売 2300円 / 当日 2500円

【前売開始】1月11日(水)

【チケット取扱】 チケットぴあ(Pコード 366-214) / e+(イープラス) / 東京国際芸術祭(TIF)

現代時報

【お問合せ】 現代時報 TEL.&FAX.019-658-1108 info@mothco.net <http://www.mothco.net>

## 劇団SKグループ[札幌]『再演A。』作・演出:すがの公

作・演出:すがの公 照明:相馬寛之 音響:品田新一/糸川亜紀 舞台美術:すがの公  
小道具:河野かや 衣装:井嶋麻紀子 宣伝美術:江田由紀浩 企画制作:劇団SKグループ  
出演:小山めぐみ/江田由紀浩/福村澄江/すがの公

### ボクは、彼女を守るために生まれた

ある女性の記憶「ジェイコブは考えました。女の子を治すためにボクは消えなくちゃ。」忘れた記憶だけが頭にこびりついて離れない、あの想い。想いから始まる淡い切ないラブストーリー。第12回公演『A。～ぼくのうたは君のうた～』を新たに書き下ろすSKG第20回記念『再演A。』4年間であたためたその「答え」とは。

1998年旗揚げ。3～4回のペースで本公演を発表し、動員平均1000名。全て団長すがの公オリジナル脚本演出作品。芝居作りで心がける事は「芝居は見世物」。あえて札幌で活動展開する事にこだわり「東京にも通用する札幌の芝居」を目指す。今回の第20回公演『再演A。』は初めての「外」公演。

【公演日時】2月25日(土) - 26日(日)

2月25日(土) 14:00 /19:30

2月26日(日) 14:00

終演後ポスト・パフォーマンス・トークあり

【料金】(全席自由・日時指定・税込)前売2300円/当日2500円

【前売開始】1月11日(水)

【チケット取扱】チケットぴあ(Pコード366-215)/e+(イープラス)/東京国際芸術祭(TIF)

劇団SKグループ

【お問合せ】劇団SKグループ TEL.090-9434-1105

skg\_dm@yahoo.co.jp <http://www1.plala.or.jp/skg>

**北九州芸術劇場×飛ぶ劇場[北九州] 『IRON(アイアン)』 作・演出:泊篤志**

作・演出:泊篤志 美術:柴田隆弘 衣装:内山ナオミ[工房 MOMO] 照明:乳原一美

音響:杉山聡 振付:佐成哲夫[sanaridance] 音楽:泊達夫 小道具:山口千琴

特殊小道具:橋本茜[Art Stage-Kenta]

出演:寺田剛史/永井秀樹(青年団)/木村健二/橋本茜/藤尾加代子/鶴飼秋子/門司智美/加賀田浩二/内田ゆみ/佐成哲夫(sanaridance)/藤原達郎/葉山太司/内山ナオミ/北村功治/宗像秀幸/桑島寿彦

[古池記者役 ダブルキャスト]

3/3(金)19:00・3/4(土)18:00...葉山太司 3/4(土)14:00・3/5(日)14:00...藤原達郎

**その時、生まれて初めて本当の「必死」を感じた。**

99年、飛ぶ劇場で初演され、第44回岸田國土戯曲賞最終候補となった作品。太平洋戦争後、日本から独立した国家「糧流島(かてるじま)」。国民のほとんどが、主な産業である鉄鋼労働に従事しているが、50年間に渡る実質的な鎖国政策によって経済は行き詰まり、国民は貧困と飢餓に苛まれていた。その島国の最大の娯楽は「卓球観戦」。国設卓球部を舞台に国家と個人との間で揺れ動く選手たちに人間模様を描く。

泊篤志との3度目の作品づくりとして、北九州芸術劇場が飛ぶ劇場と共同製作し、東京を含め全国6会場で上演。「劇団」の情熱に「劇場」が加わり、よりパワーアップした作品創りを目指した。

**【公演日時】3月3日(金) - 5日(日)**

3月3日(金) 19:00                      3月4日(土) 14:00/18:00

3月5日(日) 14:00                      終演後ポスト・パフォーマンス・トークあり

**【料金】(全席自由・日時指定・税込)**

前売 2500円 / 当日 2800円

高校生以下 前売 1500円 / 当日 1800円(高校生以下は、問合せ先のみ取扱・要学生証提示)

**【前売開始】1月11日(水)**

**【チケット取扱】** チケットぴあ(Pコード 366-216) / e+(イープラス) / 東京国際芸術祭(TIF)

北九州市芸術劇場芸術文化情報センター / 飛ぶ劇場

**【お問合せ】**

北九州芸術劇場 芸術文化情報センター TEL.093-562-2655

<http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp/>

飛ぶ劇場 [info@tobugeki.com](mailto:info@tobugeki.com) <http://www.tobugeki.com>

**4 演目セット券(全席自由・日時指定・税込) 6000円 セット券は、TIF でのみ発売**

### **Communication Program コミュニケーション・プログラム**

コミュニケーション・プログラムは、アート普及活動の一環として、舞台芸術にあまり親しみのない人からプロを目指す学生、より深く芸術祭に関わりたい人までを対象にさまざまなプログラムを実施します。5年目を迎える本プログラムは、鑑賞サポート、パーティ、大学・高校へのアウトリーチプログラムへとさらに充実。東京国際芸術祭(TIF)を一大フィールドに、みなさまが一層舞台芸術を楽しむお手伝いをしていきます。

### **IVP International Visitors Program インターナショナル・ヴィジターズ・プログラム**

インターナショナル・ヴィジターズ・プログラム(IVP)は、日本と世界の舞台芸術関係者が東京で出会い、率直な意見交換と交流を通じてネットワーク構築と国際共同製作の実現を図るプロフェッショナル・プログラムです。今回も世界各地からフェスティバル・ディレクターが来日、東京・アジアを基点とした作品のクリエイションと再配分を目指します。

### **国際演劇評論家協会(IATC/AICT)国際シンポジウム**

3月19日(日) 16:00-19:00 にしすがも創造舎特設劇場

参加費:1500円(税込・事前予約)

お問い合わせ:東京国際芸術祭(TIF)TEL.03-5961-5202 <http://tif.anj.or.jp>

「劇評は役立つ? 批評と舞台のあるべき関係を探る」

演劇、ダンス、オペラ、ミュージカルなどの舞台と、それらを対象とする刺激的な劇評は、車の両輪のように、創造活動において互いに無くてはならない関係にあります。しかし、実際には、両者の関係は理想的とは言えない状態にあります。国際演劇評論家協会(IATC/AICT)に属するヨーロッパ、北米、アジアの評論家が東京に集まり、各国における劇評の現状、アーティストたちとの関係、批評のあるべき姿、批評の未来などに関し、率直で建設的な討論を交わします。

【東京国際芸術祭 2006 提携公演】 平成 17 年度文化庁芸術創造活動重点支援事業

にしすがも創造舎演劇上演プロジェクト vol.2 [日本] 『4.48 サイコシス』

作: サラ・ケイン 演出: 阿部初美 ドラマトゥルク: 長島確

美術: 佐藤慎也 照明: 田島佐智子 音楽: 安野太郎 演出助手: 田中智佳

舞台監督: 寅川英司 × 突貫屋

出演: 谷川清美 / 笠木誠 / 水町レイコ / 久保彩美 / 徳山富夫

### 顔のない"痛み"

暴力的なデビューからわずか4年後の1999年、自殺によって28才でキャリアの幕を閉じたイギリスの劇作家サラ・ケイン。彼女の遺作「4.48 サイコシス」は、触れる者の肌をしずかに切り開き、深く突き刺さる。その詩的なことばは鬱病で自殺願望をもつ わたし の物語として作家自身と重ね合わせられてきたが、テキストには人物の指定もト書きもなく、むしろさまざまな人々の生の交錯する、同時多発的な"場"へと裂けている。誰もがもつ「この自分という冷たく黒い池」。そして"他者"と通じ合うこと。魂の舞台ともいべきその場所から、現在の日本社会の抱える"痛み"が姿をあらわすだろう...

【公演日時】3月18日(土) - 21日(火・祝)

3月18日(土) 19:30                      3月19日(日) 14:00

3月20日(月) 14:00/19:30              3月21日(火・祝) 14:00

終演後ポスト・パフォーマンス・トークあり

【会場】

にしすがも創造舎特設劇場

【料金】(全席自由・日時指定・税込)

一般 3000 円 / 学生 2000 円 (当日要学生証提示)

豊島区民割引 2500 円 (TIF でのみ発売)

【前売開始】2月1日(水)

【チケット取扱】 チケットぴあ(Pコード 366-206) / e+(イープラス) / 東京国際芸術祭(TIF)

後援: 豊島区      豊島区文化創造都市宣言記念事業

## **チケット取扱 Tickets**

チケットぴあ: TEL.0570-02-9999/0570-02-9966(p コード) <http://t.pia.co.jp/>

e+ (イープラス): <http://eee.eplus.co.jp> (パソコン & 携帯)

彩の国さいたま芸術劇場 TEL.048-858-5511 <http://www.saf.or.jp> 『エミーリア・ガッロティ』のみ

東京国際芸術祭 (TIF): TEL.03-5961-5202 <http://tif.anj.or.jp>

## **セット券情報 Set Tickets (TIF でのみ取扱)**

アメリカ現代戯曲 & 劇評家シリーズ

『メイヘム』 『アクト・ア・レディ』 『ペラージオ』 『セックスハピッツ・オブ・アメリカンウイメン』

4 演目セット券(全席自由・日時指定・税込) 一般 2000 円 / 学生 1500 円

リージョナルシアター・シリーズ 4 演目セット券 (全席自由・日時指定・税込) 6000 円

劇団 Ugly duckling[大阪] / 現代時報[盛岡] / 劇団 S K グループ[札幌] /

北九州芸術劇場 × 飛ぶ劇場

## **チケット料金振込先**

UFJ 銀行池袋支店 [口座番号] (普通)7959163

[口座名]アートネットワーク・ジャパン

郵便振替 [口座番号] 00120-7-140716 [加入者名]TIF

## **お問合せ Info.**

東京国際芸術祭 (TIF) Tokyo International Arts Festival

〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨 4-9-1 旧朝日中学校

4-9-1 Nishi-sugamo Toshima-ku Tokyo Japan

TEL.03-5961-5202 [tif@anj.or.jp](mailto:tif@anj.or.jp) <http://tif.anj.or.jp>